

みんなで学ぼう！家族で考えよう！

# 地しん防災ブック



**目次**

- P.1・・・はじめに
- P.2・・・地しんを知ろう
- P.7・・・もしごん谷ときに  
地しんがおきたら
- P.8・・・地しん発生！  
自分の身を守れ！
- P.12・・・避難できる道を  
見つけよう！
- P.19・・・そのとき、  
あなたはどうする？
- P.21・・・自分の家を安全にして  
家族を守ろう！
- P.23・・・防災グッズの中身を  
考えよう！
- P.24・・・消防署の方のお話を

みんなで学ぼう！家族で考えよう！

# 地しん防災ブック

## 学習指導案

## はじめに

日本は世界有数の地震国です。1995年に起こった阪神・淡路大震災や2004年の新潟中越地震も記憶に新しいことでしょう。さらに近年では東海地震、また関東地方における直下型地震の発生も懸念されており、国民が地震防災についての知識をつけ、その対策を講じていかなければ地震による甚大な被害を避けることはできません。私は卒業研究において知識の吸収が早い幼少期の防災教育に着目し、特に対象を小学校高学年（5,6年生）に絞って総合的な学習の時間を使った防災教育の授業プログラムを、文部科学省の学習指導要領に提示された総合的な学習の時間のねらいを満たし、かつ児童と家族が共に防災について知識を学び、深め合っていけることを目的として作成いたしました。

この授業プログラムは児童に配布する「ワークブック」教員のみなさまに配布する「学習指導案」、「指導所・指導補足書」の3点の教材で構成されております。後者2点の教材に防災に関する情報や、授業の進め方の詳細を載せておりますので、いままで防災教育に携わっていなかった方でもぜひ一度お手にとって頂きたいと思っております。また、本プログラムは全16時間の中から複数の単元を抜粋して授業を組むことができます。総合的な学習の時間の中で少しのお時間でもご活用いただき、この授業プログラムによって、より多くの児童に防災教育がされていくことを心から願っております。

日本女子大学 家政学部住居学科 石川研究室  
松原 未佳

## 本冊子の取り扱いについて

本冊子は、児童に配布するワークブック「みんなで学ぼう！家族と考えよう！地しん防災ブック」を用いて展開する各授業の進行の仕方を分単位で記載している補助教材です。「指導書・指導補足書」、「地しん防災ブック」と共に対応しておりますので、ご参照ください。

## ①防災教育への動機付け（1～2／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	10分	(1) 本日の学習について知る	○写真を見ながら、地震が起きると建物の倒壊や、多くの死傷者が出ることを伝える。その地震から身を守るために防災について学ぶことを伝える。	P.1・2 写真
展 開	10分	(2) 学校探検 ・学校探検の内容説明をする。	○写真を見ながら、学校内の防災設備をできるだけたくさん	P.3 写真
	15分	・班に分かれて、分担した範囲を探す。	見つけ、どこに配置されているかに注意しながら、その用途を考えることを伝える。	
	20分	・見つけたものの個数、場所を記入し、その用途を考える。	○防災設備が数多く配置されていること、また置かれている箇所が大体決まっていることから、各防災設備の用途を自ら考える。必要があれば解説を行う。	P.4 表
	10分	・各防災設備の用途の発表をする。	○防災設備が多く配置されていることから火災に備えていることを学び、防災への認識を持たせる。	
	20分	(3) 大地震の可能性について ・地震のメカニズムの説明を聞く。 ・イラストから関東で大地震がいつきてもおかしくないことを教え、今から防災について学習していくことの重要性を伝える。	○地震発生のメカニズムにも触れながら、約200年の間隔で発生する関東大震災の間隔に複数の地震が発生することから、今後も発生する可能性が大きいことを教える。	P.5 イラスト
ま と め	5分	(4) 本日の学習のまとめ	○これから防災を学んでいき、地震に備えようということを伝える。	

## ②学校での避難行動（3／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	7分	(1) 本日の学習について知る	○いつ地震がくるかはわからないので、もしも掃除中に地震がおきたら、どのようにすればいいかを考えることを伝える。	P.6 イラスト
展 開	7分	(2) 掃除中の避難行動 ・避難行動についての説明をする。 ・生徒を各チームに分散する。	○机を前に移動させ、①教室内で床をはいている人②廊下を掃除している人③窓をふいている人④黒板をふいている人⑤いすの脚をふいている人⑥手洗い場で雑巾をしぼっている人、に分ける。	P.6 下段表
	3分	・掃除中に地震が起きたときの避難行動をとる。		
	10分	・危険なものを見つけながら、避難行動をチームごとに考える。	○チームごとで危険なものをチェックさせながら、避難の仕方を自ら考えさせる。	
	13分	・チームごとに避難行動の発表をする。	○補足があればその都度指摘する。	
ま と め	5分	(3) 本日の学習のまとめ	○どんな状況で地震が起きるかわからないので、危険なものを見つけそこから逃げる方法を日ごろから考えることが大切であることを伝える。	

### ③自宅での避難行動（4／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○優太とママになって、自宅で地震が発生した際にどのように避難すればいいかを考えることを伝える。	
展 開	5分	(2) 自宅での避難行動 ・自宅での避難行動の説明を聞く。	○ママと優太の紹介をしてから、間取り図を見ながら、ママたちが地震が発生したとき、どこにどのように避難すればいいのかを、班で話し合いながら考えることを伝える。	P.7 イ ラ ス ト
	5分	・個人で危険なものを考え記入した後、班ごとで共有する。		P.8 間 取 表
	15分	・班での話し合い どの場所でどのように優太とママが避難すれば助かるかを考える。	○優太とママの目線に立って、自分が被災した場合をイメージさせて、自ら避難の仕方を考えさせる。 ○地震発生時に、どの場所で、どのように行動するのかを明確に書かせる。	P.9 表 P.10 表
	5分	(3) 避難経路の確保と火災の防止 ・各班、避難の仕方を発表する。	○ドアを開けること、火を消すことについて児童が考えられるように配慮する。	
	5分	・ドアを開けること、火を消すことについても考える。		
ま と め	5分	(4) 本日の学習のまとめ	○自宅で被災した場合の避難方法の考え方を知ることができたので、自宅でも実践することを伝える。	

#### ④避難行動の順序（5／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○地震発生時の避難行動の順序を学習すること、また避難の順序を間違えると危険なことがあることを伝える。	
展 開	5分	(2) 行動順序を考える ・行動順序を個人で考える。	○児童に優太の場合とママの場合、それぞれの避難順序について考えさせる。	P.11
	15分	・答えの解説を聞く。	○何人かに答えを聞きながら、なぜこの順番なのかについて説明していく。	
	10分	(3) 答えの実践 実際に地震発生を想定して、教室を自宅に置き換えて実践する。	○靴を脱いでくつろぐ状態から、外に出るまでを行う。自宅をイメージさせることが重要である。	
ま と め	10分	(4) 本日の学習のまとめ ・避難時に他にできることを考える。  ・宿題を聞く。	○イラストを見ながら、避難時には自分の身を守るだけでなく、近所の人に声をかけることや、高齢者を助け、共に助け合うことも大切であることを伝える。 ○家族に火を消す順序を伝え、感想を書いてもらうことを宿題にする。 ○避難行動の順序をきちんと実践することで、危険から身を守ることができるということを伝える。	P.11 下段

⑤避難場所・避難経路（6／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	10分	(1) 本日の学習について知る	○避難経路を見つけるゲームを行いながら、街中の危険を学ぶことを伝える。	P.12 イラスト
展 開	20分	(2) 避難経路ゲーム 班ごとに話し合い2つの選択肢から、どちらの道を選ぶか考える。 ・シンキングタイム（2分） ・意見発表（5分） これを2回繰り返す。	○優太とママの目線で街中ではどのような危険があるのかを考え、どちらの道の方ならより安全かを班ごとに話し合いながら考えさせる。 ○選んだ道と、選んだ理由を班ごとに発表する。	P.13 P.14
	10分	(3) 危険な箇所のまとめ ゲームの中で考えた街中での危険についてまとめる。	○班で話し合い、自分で思い出しながら考えさせる。	P.15 表
ま と め	5分	(4) 本日の学習のまとめ	○街中には多くの危険があること、その危険をあらかじめ知ることによって危険を回避できることを伝える。	

## ⑥緊急地震速報（7／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る ・緊急地震速報の説明を聞く。	○緊急地震速報が何かを知り、速報が流れた際に早急に対応できる知識を学ぶ。 ○緊急地震速報とは地震発生から数秒前に地震の発生を警戒するよう伝えるものだとすることを教える。	P. 17 上 イラ スト
展 開	15分	(2) 緊急地震速報の仕組み ・緊急地震速報の仕組みの説明を聞く。 ・ゲームを行う。	○イラストを見ながら、なぜ数秒前に地震発生の速報を流すことができるのかの説明をする。 ○ゲームを行い、仕組みを学ぶ。	P. 17 下 イラ スト
	20分	(3) 緊急地震速報が流れたら何ができるかな？ ・それぞれの状況で緊急地震速報が流れた際にどうすればいいかを考える。 ・考えた内容を発表しあう。	○班に分けかれて、各班、1つの状況について、考えさせる。 ○児童に以前学習したことを思い出させながら考えさせる。  ○各班、考えた内容を発表し、児童に発表内容を書き込ませる。必要であれば適宜補足説明をする。	P. 18 P. 19
ま と め	5分	(4) 本日の学習のまとめ	○緊急地震速報は施行されたばかりで認知度が低いいため、家族にも教えてあげようということを伝える。 ○速報が流れてからの対応も重要だが、必ず流れるとは限らないので、日々の防災がより大切であることも伝える。	P. 19 下

⑦家族会議・171（8／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○地震が発生すると家族と離れ離れになってしまうことがあること。また再開するために今から出来ることがあることを伝える。	
	20分	(2) そのとき、 あなたはどうする？ ・設問に関して各班で話し合う。	○震災時のイメージを持たせることと、家族と離れ離れになってしまう可能性を学ばせ、家族の大切さを感じさせる。 ※イメージさせやすくするために、状況を詳しく話してあげるとよい。	P.20 イラスト
展 開	5分	(3) 家族の避難場所について ・家族で避難場所を確認しあうことの大切さを学ぶ。 ・避難場所を決めて、家族のサインをもらうという宿題を聞く。	○自分一人が地震の知識を持っているだけでなく、家族と共有して皆で地震を生き抜いていこうという思いを伝える。 ○家族と地震について話し合っていくことの必要性を教える。	P.20 下段 表
ま と め	5分	(4) 171 ・171の説明を聞く。	○171が被災時の家族との連絡手段であることを教える。また171は簡単なので、家族と共に練習すること提案する。	P.21
	10分	(5) 本日の学習のまとめ ・宿題を聞く。	○家族と地震について話し合うことを改めて提案する。 ○家族と避難場所を決定し、サインをもらうことを宿題とする。	P.20 下段

⑧自宅危険度チェック（9／16時間）

※事前に宿題を出す必要があります。

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○自宅の間取りを改善して、保護者や児童が地震のときに生き抜けるように児童自ら考えることを伝える。	
展 開	5分	(2) 自宅の危険度チェック ・説明を聞く。	○宿題にした自宅の間取りから危険な箇所を見つけ、どうすれば改善できるかを考える。 ○家族を危険から守るために子ども自身で考えることが、家族を守るために自分ができることであることを伝える。	P.22 間取り
	5分	・間取りの危険な箇所に丸をする。	○②避難行動の授業で学んだドアの確保など、以前に学習したことを思い出させる。	P.23 写真
	15分	・改善策を考える。	○基本的に個人で考えるが、話合ってもよい。	P.22 下段
	10分	・発表	○隣の席の子と発表しあい、子ども同士で間違ったところや改善案などを指摘しあう。	表
ま と め	5分	(3) 本日の学習のまとめ	○自宅で家族と話し合い、改善案を実行する提案をする。子ども自身の行動が家族を守ることを伝える。 ○自宅で行っている安全対策を書いてくることを伝える。	P.23 下段

### ⑨防災袋（10／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○防災袋の中身を自ら考えて家族を守ろうということを伝える。	
展 開	5分	(2) 防災袋リストの作成 ・防災リストの説明を聞く。	○被災後を、イラストを見ながらイメージさせ、すぐに逃げる際に本当に必要なものをあらかじめ用意することが大切であることを伝える。	P.24 イラスト
	15分	・班で話し合い、リストを完成させる。		P.24 下段
	10分	・発表をする。	○手をあげて一つずつ発表させる。	表
	5分	・足りなかったものの補足をする。	○必要であれば適宜補足説明をする。	
ま と め	5分	(3) 本日の学習のまとめ	○家族と防災袋について話し合い、自宅にあるものと無いものをチェックして、あるものだけでも防災袋を用意するように伝える。	

⑩応急手当・消火器（11～13／16時間）

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	15分	(1) 本日の学習について知る。 ・校庭に集合する。 ・本日のながれと目標を聞く。 ・消防士の方の紹介を聞く。	○答えとその理由を説明する。 ○消防署の方のお話を伺い、地域の防災体制を知ること。また消火器の使い方と止血法を学び、いざというとき人を助けられる技術であることを伝える。 ○感じたことや、学んだことをワークブックに書き込ませる。	P.25 随時 書き 込ませる
	15分	(2) 消防署の方のお話を聞く	○大地震が起きた際に消防署の人たちがどのように救助に向かうのか。また地域が大地震に対してどのように準備をしているのか。 ○一人ひとりが防災に関心を持って、知識を学び広めていき、地域の人たちと協力することが大切であることも伝えたい。	
展 開	15分	(3) 消火器の使い方 ・使い方の説明を聞く。	○児童全員が消火器を手にとれるようにする。	
	25分	・消火器を手にとってみて、実際に使用してみる。		
	15分	(4) 止血法 ・止血法の説明を聞く。	○児童全員が実践できるようにする。	
	25分	・児童が実践する。		
ま と め	10分	(5) 消防署の方にお礼の挨拶		
	15分	(6) 本日の学習のまとめ  ・宿題を聞く	○親が知らないような知識を得たことを伝え、周りの人や家族のために役立てていこう、ということ伝える。 ○本日の感想を書いてくる宿題を出す。	

## ⑪家族の防災新聞（14～16／16時間）

○14／16時間

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	10分	(1) 本日の学習について知る	○今まで学んできたことや、新たな知識を自ら学び、自分の言葉で表現し、自分だけでなく家族を地震から守ろうということを伝える。	
展 開	15分	(2) 防災新聞の作り方の説明 ・興味を持ったテーマごとにチームになって分かれる。 ・用紙（A4）を受け取る。 ・書き方の説明を聞く。	○興味を持ったテーマを考え、同じテーマに興味を持った児童とチームを組む。 ○より深く学びたいこと、新しく学びたいと思うようなテーマであることが大切であることを伝える。	
ま と め	20分	(3) 防災新聞製作の計画	○チームごとに、具体的にどのような内容について調べるか、調べる媒体や、完成までの計画を立てる。	指 導 書 P.27

○15／16時間

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○新聞製作を行う。次の授業で発表をすることを伝える。	
展 開	35分	(2) 防災新聞の製作	○進行状況を確認する。	
ま と め	5分	(3) 本日の学習のまとめ	○次回は20分ほどしか時間をとれないので、進みが遅い児チームは次回までに進めておくことを伝える。	

○16/16時間

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習を知る	○20分後に発表であることを伝える。	
展 開	15分	(2) 防災新聞の製作		
	15分	(3) 防災新聞の発表	○チームごとに発表させる。 ○完成した新聞をコピーして配布できるとよい。	
ま と め	10分	(4) 今までの学習のまとめ	○今までの学習を振り返り、この授業で終わりなのではなく、常日頃から防災について考えていくことが重要である、ということ伝える。	

## A. 防災館見学

※事前に防災館の予約をする必要があります。

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	午前中	(1) 本日の学習について知る ・防災館見学の説明を聞く。	○防災館とは何か、様々な体験をして地震に備え、防災について知ることを伝える。	
展 開		(2) 移動	○安全に交通機関を利用できるように留意する。	
		(3) 防災館見学	○防災館の方の指導を受けながら、各種体験を実施する。消火体験、119番通報体験、煙体験など。	
ま と め	15分	(4) 移動  (5) まとめ ・感じたことや学んだことを、振り返りカードに記入する。	○防災への関心が高まっているかを確認する。	指 導 書 P. 33

※指導書は割愛しています。

## B. 起震車体験

※事前に起震車の依頼をする必要があります。

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	15分	(1) 本日の学習について知る ・起震車の説明を聞く。	○起震車を体験することで、実際の地震がどのようなものかを体験することを伝える。 ○消防署の方から、起震車の乗り方を聞く。	
展 開	45分	(2) 起震車体験 ○4名ずつの班に分かれ、消防署の方の指導に従って乗車する。	○事故防止に気を付けて行う。	
	10分	(3) 消防署の方にお礼の挨拶をする。		
ま と め	20分	(4) まとめ ・感じたことや学んだことを、振り返りカードに記入する。	○防災への関心が高まっているかを確認する。	指導書 P.33

※指導書は割愛しています。

### C. 防災マップ作成

※事前にまち歩きに同行する方を依頼する必要があります。

○1～2／3時間

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	10分	(1) 本日の学習について知る ・防災マップ作成の説明を聞く。 ・班を3つに分ける。	○街を防災の視点で探索し、まちの危険な箇所や、地震時に役立つ防災設備などを調べ、皆で共有し、地震の際に安全に逃げられるように備える。 ○学区域を3～4つに分け、3～4チームに振り分ける。またそれぞれの地域の地図を配布する。	
展 開	45分	(2) まち歩き	○児童の自主性を重視しながら街を歩き、班ごとに災害時に危険な箇所、役立つものを見つけて、カメラで撮影する。	
	35分	(3) 防災マップ作り	○チームごとに、危ない箇所と役立つものを地図に書き込む。	

○3／3時間

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
展 開	15分	(1) 防災マップ作り	○カメラで撮影した写真を貼る。	
	20分	(2) 発表 ・防災マップを合わせる。 ・チームごとに発表する。	○チームごとにまち歩きの中で見つけたもの、気づいたことなどを発表する。	
ま と め	15分	(3) まとめ ・感じたことや学んだことなどを、振り返りカードに記入する。	○防災への関心が高まっているかを確認する。	

## D. 防災袋作成

※⑨防災袋の次回に行ってください。

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る ・防災袋作成の説明を聞く。	○⑨防災袋の授業で決めた、防災袋に必要なものを自宅から持ち寄る。 ○⑨の授業で考えたことや、学んだことを生かして防災袋を作ることを伝える。	
展 開	15分	(2) 防災袋の作成 ○持ち寄ったものを防災袋に詰めて、完成させる。 ○中に入れたものと、持ち寄れなかったものをワークブックで確認しておく。		P. 24 下段
	20分	(3) 発表 ○班の一人が防災袋を背負って登場し、全員で中に入っているもの、工夫した点、足りなかったものを発表する。	○教師も事前に作っておいた防災袋を発表し、児童の防災袋の中身で足りなかったものを補足する。	
ま と め	5分	(4) まとめ ・感じたことや学んだことを振り返りカードに記入する。	○防災への関心が高まっているかを確認する。	指導書 P. 33

## E. バケツリレー

	時間	学習活動	指導上の留意点 ほか	参照
導 入	5分	(1) 本日の学習について知る	○地震がおきた際の火災の延焼を防ぐときの方法の1つであるバケツリレーのやり方と、正確な情報伝達の大切さを他の人との連携しながら学ぶことを伝える。	
展 開	5分	(2) ルール説明	○東西南北の方向を伝える。 ○8～10人の班を作る。 ○伝言ゲームを行って、情報が最後の人まで伝わったら、バケツリレーを開始し、バケツをいっぱいにするまでの時間と情報伝達の的確さを競う。	
	20分	(3) バケツリレー開始 ○先頭の児童は後ろに伝えていき、最後尾の児童が「伝わりました！」と叫んだらバケツリレーを開始する。	○先頭の児童に「バケツリレーが終わったら、次は～の方角にある～丁目の火を消しに行ってください」という伝言をする。	
ま と め	5分	(4) 結果発表と補足 ・結果発表を聞く。  ・バケツリレーのお話を聞く。	○情報が的確に伝わり、かつタイムが最も早かった班の発表をする。 ○バケツリレーについてのお話をする。	
	10分	(5) まとめ ・感じたこと、学んだことなどを振り返りシートに記入する。	○情報共有や、他の人と協力することの大切さを伝える。	指 導 書 P. 33

みんなで学ぼう！家族で考えよう！  
地しん防災ブック

## 学習指導書

平成 20 年 1 月 製作

日本女子大学 石川研究室  
松原 未佳